



代表の岩崎氏（左から2番目）と従業員の皆さん

経営概要

- ◆代表者、所在地
代表取締役 岩崎優也、 埼玉県本庄市
- ◆設立年
令和5年11月
- ◆経営規模
ねぎ 14ha（栽培9ha、作業受託5ha）
- ◆従業員数
役員1名、正社員12名、パート・アルバイト1名
- ◆事業内容
ねぎの生産・販売に取り組む。

1 現状及び相談内容

岩崎氏は非農家出身で大学卒業後、平成30年にねぎを生産している法人に雇用就農した。令和2年に青年等就農計画の認定を受け、法人から独立して農業経営を開始した。

ねぎの機械化一貫体系により栽培規模を拡大し、周年出荷体制や作業受託により経営安定を図っている。安定的な雇用を確保するために、法人化をしないと、埼玉県農業経営・就農支援センターへ令和4年8月に相談があった。

2 支援内容

新規就農に際し、農業次世代人材投資事業（経営開始型）の交付等について関係機関と連携し支援を行った。埼玉農業経営塾への参加を促し、農業経営の将来像について検討する機会を提供した。

また、税理士や中小企業診断士、行政書士、社会保険労務士の派遣を通じて、法人化や労務管理に関する助言を行い、雇用体制整備に対する支援を行った。

3 人材の確保・育成に資する取組

★作業別にチーム編成を行い、そのチームのリーダーに積極的に進捗管理を任せることなどで業務を通じた能力向上の取組を実施

■労働環境の整備と雇用の安定化

令和5年11月に「株式会社こむぎ」を設立するとともに、社会保険制度の諸規定を整備した。あわせて、就業規則を策定し労働条件を明確化した。

■作業チーム編成による人材育成

従業員の適性と希望を勘案して栽培管理と出荷調製に各チームを編成し、リーダーによる指示連絡体制を整えた。

■経営管理ツールを活用しデータ管理

経営管理ツールの活用により、迅速なデータ共有を行っている。作付計画や栽培管理、作業進捗、出荷量、売上等の業務におけるデータを迅速かつ徹底して数値管理・共有することで、従業員に示す指標を明確化し、正確な指示が行えるようになった。



ねぎほ場



調製作業

今後の意気込み

今後の経営規模の拡大と経営発展のために、自社ブランド力の向上と販路拡大による販売力の強化に取り組んでいきます。

専属スタッフ所感

経営ビジョンが明確であり、経営発展への意思が高く、経営者、全従業員ともに20代と若く、地域の担い手として大きな役割を果たされており、今後の経営発展が期待されます。